

離島における一般用医薬品のインターネット購入に関する意識調査  
—インターネットを使用する居住者を対象として—

平山匡彦,<sup>a,b</sup> 田中秀和,<sup>a,b</sup> 鈴木慎太郎,<sup>a,b</sup> 大村平自,<sup>a</sup> 永瀬正義,<sup>a</sup>  
作元誠司,<sup>a</sup> 菅原正典,<sup>b</sup> 北原敏弘,<sup>a</sup> 宮崎長一郎,<sup>a</sup> 山下 登,<sup>c</sup> 吉谷清光,<sup>c</sup>  
三木晶子,<sup>d,f</sup> 佐藤宏樹,<sup>d,f</sup> 堀 里子,<sup>e,d,f</sup> 澤田康文\*,<sup>d,f</sup>

An Opinion Survey about Purchasing Nonprescription Drugs over the Internet in Remote Islands  
—Survey among Internet-literate Inhabitants—

Tadahiko HIRAYAMA,<sup>a,b</sup> Hidekazu TANAKA,<sup>a,b</sup> Shintarou SUZUKI,<sup>a,b</sup> Heiji O-MURA,<sup>a</sup>  
Masayoshi NAGASE,<sup>a</sup> Seiji SAKUMOTO,<sup>a</sup> Masanori SUGAHARA,<sup>b</sup> Toshihiro KITAHARA,<sup>a</sup>  
Cho-Ichiro MIYAZAKI,<sup>a</sup> Noboru YAMASHITA,<sup>c</sup> Kiyomitu YOSHITANI,<sup>c</sup> Akiko MIKI,<sup>d,f</sup>  
Hiroki SATOH,<sup>d,f</sup> Satoko HORI,<sup>e,d,f</sup> and Yasufumi SAWADA\*,<sup>d,f</sup>

<sup>a</sup>Nagasaki Pharmaceutical Association, 3-18 Mori-machi, Nagasaki 852-8104, Japan, <sup>b</sup>Goto Pharmaceutical Association, 8-8 Chuo-machi, Goto, Nagasaki 853-0002, Japan, <sup>c</sup>Goto City Hall, 1-1 Fukue-cho, Goto, Nagasaki 853-8501, Japan, <sup>d</sup>Graduate School of Pharmaceutical Sciences, <sup>e</sup>Interfaculty Initiative in Information Studies, The University of Tokyo, and <sup>f</sup>NPO Drug Lifetime Management Center, 7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033, Japan

(Received February 24, 2011; Accepted February 28, 2011; Published online March 1, 2011)

The revised Pharmaceutical Affairs Act that came into force in June 2009 prohibits the sales of nonprescription drugs by mail. However, as a provisional measure, regular users and inhabitants of remote islands that do not have pharmacies or drug stores would be able to purchase nonprescription drugs by mail for two years. However, this regulation is now being discussed from the perspectives of safety and convenience. The purpose of this study was to conduct a survey on the purchasing of nonprescription drugs over the Internet by inhabitants of remote islands belonging to Goto City in Nagasaki prefecture. The results showed that approximately 78.0% of the Internet-literate respondents living on large islands (with pharmacies, drug stores, and pharmacists, e.g., Fukue-shima), 65.4% of the Internet-literate respondents living on small islands scattered around large islands (where pharmacies, drug stores, and pharmacists are not located, e.g., Mae-shima) had purchased necessities except nonprescription drugs, but the rate of purchasing nonprescription drugs over the Internet was approximately less than 10%. The results of this survey suggest that it is not necessary to purchase nonprescription drugs over the Internet. However, owing to a small but significant minority of inhabitants who need to purchase nonprescription drugs over the Internet, there is an urgent need for establishing an optimum system for supplying medicinal products to remote islands.

**Key words**—nonprescription drug; purchasing over the Internet; remote island

緒 言

2009年6月1日より、一般用医薬品の販売においてより確かな安全性を確保するために改正薬事法が施行された。新制度では、一般用医薬品はリスク区分され（第一類、第二類、第三類）、一般用医薬

品のうち95%（約13000品目）におよぶ第二類及び第三類の販売に従事する者として、新しく登録販売者が認められることとなった。一方で、第一類と第二類の一般用医薬品については、郵送販売（インターネット販売を含む）が禁止された。この規制については、薬局・薬店がない離島の居住者や継続使用者に対して2年間の経過措置が認められたものの、その是非に関しては、現在も安全性や利便性の観点から様々な議論が展開されている。離島居住者にはインターネットを利用した一般用医薬品の販売

<sup>a</sup>社団法人長崎県薬剤師会, <sup>b</sup>五島薬剤師会, <sup>c</sup>五島市役所, <sup>d</sup>東京大学大学院薬学系研究科, <sup>e</sup>同情報学環, <sup>f</sup>NPO 法人医薬品ライフタイムマネジメントセンター  
\*e-mail: sawada@mol.f.u-tokyo.ac.jp

は有用との意見もあるが、具体的調査に基づく実証はほとんどなされていない。わが国は多くの離島・僻地を抱え、これらの地域には、薬局・薬店のない地域、薬剤師不在の地域も少なくない。同時に、過疎化、高齢化、交通の不便さ等は共通の課題である。このような地域において、一般用医薬品の新販売制度の下、安全な一般用医薬品使用を実現するためには、都市部とは異なる医薬品供給・管理・適正使用モデルが必要であると考え、しかし、離島・僻地の居住者に対するセルフメディケーションの実態調査やニーズ調査はこれまでにほとんど行われていない。

離島には一次離島（大型離島で薬局・薬店・薬剤師が存在する）と二次離島（大型離島の周辺に点在する小離島で薬局・薬店・薬剤師が存在しない）がある。われわれはこれまでに、離島地域のうち、インターネット環境がほぼ整備され、薬局・薬店のある地域（一次離島）の居住者を対象に、インターネットでの医薬品購入に関する実態や意識調査を実施して検討した。<sup>1,2)</sup> その結果、回答者（97名）のうち77%（75名）は自宅にインターネット環境を持ち、インターネットで医薬品以外の購入歴があったが、インターネットで風邪薬などの医薬品を購入した住民は2名（2%）とごくわずかで、95名（98%）は購入したことがなかった。また、インターネットで医薬品を購入する必要性を感じたことがある回答者は全体の7%であったことが判明した。しかし、これらの研究では、インターネットを使用しない離島居住者や、薬局・薬店が存在しないような二次離島居住者の住民からの意見を得ることができておらず、そのため、回答が得難かった高齢者や、より医薬品入手が困難な二次離島の居住者を対象とし、調査対象者のインターネット使用状況を考慮した上で、一般用医薬品の購入、使用実態やニーズに関する調査を大規模かつシステムティックに実施することが必須であると判断した。

そこで本研究では、多くの離島を擁する長崎県五島市をモデル地域とし、一次離島と二次離島の居住者にとっての一般用医薬品のインターネット販売の必要性・有用性や、僻地における一般用医薬品の適正使用推進のための最適な供給・管理体制、薬剤師と市民間のリスクコミュニケーションのあり方について調査・解析することを目的とした。本稿では、

インターネット使用者に対するアンケート結果を示す。

## 方 法

**1. 用語の定義** 長崎県五島市には、平成21年10月末現在、福江島、奈留島、前島、久賀島、蕨小島、椛島、赤島、黄島、黒島、島山島及び嵯峨島の11の有人島がある。これらの島のうち、福江島と奈留島には「薬局・薬店」が存在しているが、それ以外の島には存在していない。本研究においては、「薬局・薬店」へのアクセスの違いにより、以下のように「一次離島」及び「二次離島」という区分を設けた。「一次離島」…本土との直接的な移動手段があり、薬局や薬店があるような大離島（福江島、奈留島及び島山島）。なお、島山島には薬局・薬店が存在せず、「薬局や薬店がない離島の居住者」ということで、厚生労働省より一般用医薬品のネット販売の2年間の経過措置に含まれる離島であるとされてはいるものの、福江島と橋で結ばれていることから、本研究では一次離島区分に含めた。「二次離島」…本土への直接的な移動手段がなく、薬局・薬店がないような、大離島の周辺に点在し、「離島の中の離島」とも表現される小離島（前島、久賀島、蕨小島、椛島、赤島、黄島、黒島及び嵯峨島）。

**2. 調査対象者** 本調査では、長崎県五島市全人口のうち医薬品の主な購買層と考えられる16歳以上を調査対象とした。平成21年10月末現在の五島市の人口は43072人であり、男性20152人（46.8%）及び女性22920人（53.2%）、また、一次離島居住者42084人（97.7%）及び二次離島居住者988人（2.3%）であった。このうち、16歳以上の居住者38224人から、五島市職員が住民基本台帳を用いて3000人を無作為抽出した。さらに、二次離島居住者のデータをより多く集めるために、無作為抽出において抽出されなかった16歳以上の二次離島居住者、残り819人も対象とし、合計3819人（一次離島居住者2944人及び二次離島居住者875人）を対象とした。

**3. 調査方法及び調査期間** 本調査では、行政区全体が離島である五島市に協力を得て、五島市職員によって直接、住民基本台帳を用いて、16歳以上の五島市民3000名を無作為に抽出することで、アンケート対象者の偏りをなくし、さらに、五島市

から直接送付することで意見の誘導を極力減らし、様々な状況や立場に置かれる離島居住者からの意見をできるだけ多く抽出するという手法を試みた。

また本調査は、多肢選択式及び自由記述式の無記名アンケート調査により行った。対象者のインターネット使用状況により2種類のアンケート用紙(「インターネットを使う方用のアンケート」と「インターネットを使わない方用のアンケート」)を用意し、対象者自身にどちらかを選択して回答してもらう方式とした。アンケート用紙のほか、アンケートの趣旨説明を書いた「アンケートのお願い」、アンケートの具体的な記載方法等の説明用紙「アンケートについての注意書き」、及び返信用封筒とともに、五島市からの送付物として宅配便にて送付した。平成22年1月22日-2月26日の間にアンケート用紙を送付し、5月19日を最終受付として締め切った。「インターネットを使う方用のアンケート」の内容をFig. 1に示す。

**4. 解析方法** 回収されたアンケート用紙のうち、「インターネットを使う方用のアンケート」と「インターネットを使わない方用のアンケート」の

両方ともに記載のある用紙、両方ともに記載がない用紙、回答方法を間違った用紙は解析から除外した。本研究では、「インターネットを使う方用のアンケート」について集計、解析を行った。なお、統計解析には、 $\chi^2$ 検定を用いた。

## 結 果

**1. アンケート回答数** 回答期限までに回収されたアンケート用紙は1269件であり、最終的に有効回答としたものは825件(回収率21.6%)であった。有効回答とした825件は、16歳以上の五島市居住者38244人の2.2%にあたり、一次離島居住者648件、二次離島居住者177件であった。

有効回答のうち、インターネット使用者の割合は一次離島居住者277名(42.7%)、二次離島居住者26名(14.7%)であり、一次離島居住者の方が多かった(Fig. 2)。このうち、一次離島居住者246名(88.8%)及び二次離島居住者24名(92.3%)が、パソコン若しくは携帯電話を自分で操作してインターネットを使用していると回答し、残りは代わりに操作してくれる人が近くにいると回答した。な

### 「薬」の購入に関する離島住民の意識調査 <書き込んだあと返信用封筒に入れてお出しく下さい>

この冊子は、  
インターネットを 使うかた 用の  
アンケートです。

五島薬剤師会  
社団法人 長崎県薬剤師会  
東京大学 大学院薬学系研究科 医薬品情報学講座  
NPO法人 医薬品ライフタイムマネジメントセンター  
五島市

最初に、あなたご自身の事をおきかせください。

住んでいる島の名前を下記より選択して、○で囲んでください。

ふくえじま 福江島	なるしま 奈留島			
あかしま 赤島	おうしま 黄島	みげしま 枇島	くろしま 黒島	さがのしま 嵯峨島
しまやまし 島山島	ひさかじま 久賀島	まよしま 前島	わらびこじま 蕨小島	

問1. 現在のお住まいはどちらですか?

- 自宅
- 同居人数は何人ですか? <回答可能ならば>  
【ご自身を含めて】( 人)
- 施設など(老人ホームなど)

問2. 年齢についてお伺いします。

- 10歳代  20歳代  30歳代  40歳代  
 50歳代  60歳代  70歳代  80歳以上

問3. 性別についてお伺いします。

- 男性  女性

問4. 病院への通院状況についてお伺いします。一つだけ選んでください。

- 現在、病院にかかっている
- 使用している薬の名前を教えてください<回答可能ならば>
- 以前、病院にかかっていたが、今はかかっていない
- 使用していた薬の名前を教えてください<回答可能ならば>
- これまで病院にかかったことはない

Fig. 1. Questionnaire for Inhabitants Who are Internet-literate

**問5. お体を動かすのに不自由はないですか？ 一つだけ選んでください。**

- 寝たきりである  
 歩行することが困難であり家の中でも介助が必要  
 歩行出来るが、外出時には介助が必要  
 普通に歩行、外出することが出来る

**問6. お仕事について伺います。いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。**

- 漁業  農業  会社勤め  公務員  自営業  無職  
 その他（具体的に）

**問7. 現在お住まいの島には、これまでで合計、何年間ほどお住まいになっていますか？ 一つだけ選んでください。**

- 5年未満  
 5年以上 ~ 10年未満  
 10年以上 ~ 15年未満  
 15年以上 ~ 20年未満  
 20年以上

**問8. 通常、インターネットが使用できる状況にありますか？ 一つだけ選んでください。**

- パソコンや携帯電話を利用して、自分でインターネットを使用している  
 自分では使用しないが、代わりにパソコンや携帯電話を利用してインターネットを使用してくれる人が近くにいる

【次は 4ページ の 問イ に進んでください】

3ページ

次に、お薬についておたずねします。

**問イ：インターネットで一般的な物品（薬以外）の買物をした事がありますか？**

- ある → 【次は このページ の イ-1 に進んでください】  
 ない → 【次は 5ページ の イ-2 に進んでください】

【イ-1】「ある」と答えた人

**■どのような状況でしたか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。**

- 離島であるにもかかわらず、比較的早く品物が届いて便利だと感じた  
 様々なものが購入できて便利だった  
 送料を加えても、離島で購入するよりも安く手に入った  
 対応がしっかりしていて、安心して購入できた  
 離島なので、都市部と比較して、品物が届くのに日数がかかるので困った  
 離島なので、都市部と比較して品物の配送に余分な経費がかかったことがある  
 購入しようとしたが離島である事を理由にインターネット業者から断られたことがある  
 想像していたような商品でなく、がっかりした  
 その他（具体的に）

【次は 5ページ の 問ロ に進んでください】

4ページ

【イ-2】「ない」と答えた人

**■なぜですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。**

- 配送料など、離島という理由で他の地域より余計にコストがかかりそうだから  
 離島なので、注文してから配送されるのに時間がかかりそうだから  
 島内の商店で間に合っている  
 本土（長崎や福岡）の商店まで買い物に行ったり、必要なものを送ってもらうことで間に合っている  
 発注までの操作が面倒だから  
 支払方法が複雑で、難しいから  
 インターネットでの買い物が信用できないから  
 その他（具体的に）

【次は このページ の 問ロ に進んでください】

**問ロ：風邪薬、胃腸薬、痛み止め、貼り薬、目薬、坐薬などの市販のお薬を使用することがありますか？ 一つだけ選んでください。**

- 度々ある（月1回以上）  
 時々（2ヶ月に1回 ~ 1年に1回）  
 ほとんどない（1年に1回程度以下）  
 全くない

【次は 6ページ の 問ハ に進んでください】

5ページ

**問ハ：風邪薬、胃腸薬、痛み止め、貼り薬、目薬、坐薬などの市販のお薬は、主にどこで購入されていますか？ または、もし購入されるとしたら、どこで購入されるおつもりですか？ 一つだけ選んでください。**

- インターネットで購入  
 → 【次は 7ページ の ハ-1 に進んでください】  
 薬剤師がいて、病院の薬を出して貰えるような薬局で購入  
 → 【次は 8ページ の ハ-2 に進んでください】  
 病院の薬を出して貰えないようなドラッグストア・薬店で購入  
 → 【次は 9ページ の ハ-3 に進んでください】  
 配置薬（置き薬）を利用する  
 → 【次は 10ページ の ハ-4 に進んでください】  
 市販の薬は購入した事がない  
 → 【次は 11ページ の ハ-5 に進んでください】  
 自分では購入しない（家族、同居人などが購入する）ので、わからない  
 → 【次は 11ページ の 問三 に進んでください】

6ページ

## 【ハ-1】「インターネットで購入」を選んだ人

■なぜですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 自宅に居ながらにして手に入れることができるから
- プライバシーが守れるから
- インターネットで買う方が安いから
- インターネットのほうが信頼できるから
- 服用方法などの情報が豊富で安心できるから
- 品揃えが豊富だから
- 島内に薬局・ドラッグストアがなく、他の島や本土（長崎や福岡など）の薬局からも入手できないから
- 島内に薬局・ドラッグストアはあるが、使用したい商品が手に入らないから
- 島内に薬局・ドラッグストアはあるが、遠くで行けないから
- その他 〔具体的に〕

【次は 11 ページの 問二 に進んでください】

7 ページ

## 【ハ-2】「薬剤師がいて、病院の薬を出して貰えるような薬局で購入」を選んだ人

■なぜですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 実物を手にとりながら購入したいから
- 薬局の薬剤師から説明を受けて購入したいから
- 病院へ行ったついでに購入できるから
- 医師や薬剤師から、市販薬を勝手に買ってはいけないと言われていてるから
- 信頼できる行きつけの薬局があるから
- 信頼できるかかりつけの薬剤師がいるから
- お薬の飲み合わせや副作用が気になるから
- その他 〔具体的に〕

■主にどこの薬局ですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 島内の薬局へ買いに行く
- 福江島のような大きな島の薬局へ買いに行く
- 長崎や福岡など本土の薬局へ買いに行く
- 島内の薬局へ連絡して薬剤師に配達してもらう
- 福江島のような大きな島の薬局へ連絡して薬剤師に配達してもらう
- その他 〔具体的に〕

【次は 11 ページの 問二 に進んでください】

8 ページ

## 【ハ-3】「病院の薬を出して貰えないようなドラッグストア・薬店で購入」を選んだ人

■なぜですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 実物を手にとりながら購入したいから
- 品ぞろえが豊富だから
- 薬剤師などの専門家から説明を受けて購入したいから
- 信頼できる行きつけのドラッグストア・薬店があるから
- 薬剤師などの、信頼できるかかりつけの専門家がいるから
- 安く購入できるから
- その他 〔具体的に〕

■どこのドラッグストア・薬店ですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 島内のドラッグストア・薬店へ買いに行く
- 福江島のような大きな島のドラッグストア・薬店へ買いに行く
- 長崎や福岡など本土のドラッグストア・薬店へ買いに行く
- 島内のドラッグストア・薬店へ連絡して薬剤師などの専門家に配達してもらう
- 福江島のような大きな島のドラッグストア・薬店へ連絡して薬剤師などの専門家に配達してもらう
- その他 〔具体的に〕

【次は 11 ページの 問二 に進んでください】

9 ページ

## 【ハ-4】「配置薬（置き薬）を利用する」を選んだ人

■なぜですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 薬局やドラッグストア・薬店へ行くのが面倒だから
- これまで配置薬（置き薬）で対応して困ったことがないから
- 慣れ親しんだ薬ばかりだから
- 配置薬（置き薬）を持ってくる営業マンが親切だから
- その他 〔具体的に〕

■配置薬（置き薬）は、何社と契約していますか？ 一つだけ選んでください。

- 1社
- 2社
- 3社
- 4社以上

■薬はどれくらいの頻度で補充されますか？ 一つだけ選んでください。

- 1ヶ月に1度
- 2～3か月に1度
- 半年に1度
- 1年に1度
- 1年に1度も来ない
- わからない

【次は 11 ページの 問二 に進んでください】

10 ページ

## 【ハ-5】「市販の薬は購入した事がない」を選んだ人

■なぜですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 風邪など病気にかかったことがないから
- 薬を使わなくても病気やケガなどは自然に治るから
- 調子が悪く（病気に）なると病院にすぐかかることから病院から薬が手に入るから
- 市販の薬は値段が高いから
- 市販の薬は効き目が弱いと思うから
- 薬剤師などの専門家が信頼できないから
- 薬が嫌いだから
- その他（具体的に）

【次は このページ の 問二 に進んでください】

問二：インターネットで風邪薬、胃腸薬、痛み止め、貼り薬、目薬、坐薬などの市販の医薬品を購入したこと、購入しようとしたことがありますか？ 二つだけを選んでください。

- 購入したことがある  
→【次は 12ページ の 二-1 に進んでください】
- 購入したことはないが、その必要性を感じた事がある  
→【次は 13ページ の 二-2 に進んでください】
- 購入したことがないし、その必要性も感じない  
→【次は 14ページ の 二-3 に進んでください】

11ページ

## 【ニ-1】「インターネットで購入したことがある」を選んだ人

■なぜ購入したのですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 試しに購入してみた
- 薬が必要だが、薬局などへ行く時間がない時があった
- 島内の薬局などでは使用したい商品が手に入らない
- インターネットで買う方が安い
- （医薬品の例）
- 島内の薬局・ドラッグストアで購入すると病気が知られてしまう
- インターネットで買うほうが、離島の薬局・ドラッグストアよりも信頼できる
- 五島以外の土地から越してきて、もともと信頼できる薬局が他の地域にある
- その他（具体的に）

■どのような状況でしたか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 注文でき、離島であるにもかかわらず比較的早く品物が届いた
- 離島で手に入らない商品が購入できて助かった
- 送料が生じてても、離島で購入するよりも安く手に入った
- 対応がしっかりしていて、安心して購入できた
- 注文できたが、離島であるため、都市部と比較して品物が届くのに時間がかかり困った
- 注文できたが、離島であるため品物の配送に都市部と比較して余分な経費がかかった
- 購入しようとしたが離島である事を理由にインターネット業者から断られた
- 薬についての情報が不十分で、不安だった
- その他（具体的に）

【次は 15ページ の 問六 に進んでください】

12ページ

## 【ニ-2】「インターネットで購入したことはないが、その必要性を感じた事がある」を選んだ人

■どのような時（場合）に必要性を感じたのですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 試しに購入してみたいと思う時がある
- 薬が必要となったが、薬局などへ行く時間がないとき
- 使用したい商品が手に入らないとき
- インターネットで買う方が安いだろうと思うとき
- 島内で医薬品を購入している事を知られたくない時がある
- 離島で購入するよりも、インターネットでの買い物の方が信頼できそう
- 自分には必要ないが、体の不自由な方たちのことを聞くと、必要性を感じる
- その他（具体的に）

■なぜ必要性を感じた時に買わなかったのですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- インターネットが苦手な注文するのがおっくうだから
- 配送料など、離島であるため余計にコストがかかりそうだから
- 離島なので、注文してから配送されるのに時間がかかりそうだから
- そもそも薬はインターネットで購入するものではないと考えているから
- その他（具体的に）

【次は 15ページ の 問六 に進んでください】

13ページ

## 【ニ-3】「インターネットで購入したことがないし、その必要性も感じない」を選んだ人

■なぜですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

- 配送料など、離島なので余計にコストがかかりそうだから
- 離島なので注文してから配送されるのに時間がかかりそうだから
- そもそも薬はインターネットで購入するものではないと考えているから
- 五島市内や、本土（長崎や福岡など）の薬局・ドラッグストアで購入できるから
- 病気にかかったことがないから薬は必要ない
- 病気になったら病院に必ずいくから薬は病院でもらう
- インターネットでの買い物は信用できないから
- そもそも市販の薬は使用しないから
- 配置薬（置き薬）があるから
- その他（具体的に）

【次は 15ページ の 問六 に進んでください】

14ページ

Fig. 1. (Continued)

問6：風邪薬、胃腸薬、痛み止め、貼り薬、目薬、坐薬などの市販のお薬（OTC医薬品）を手に入れる方法として期待するものはどれですか？ 一つだけ選んでください。

事前にお願ひしておけば、定期的に薬剤師が配達してくれる

緊急時でも薬剤師が配達してくれる

できればインターネットで購入したい

今のままで十分

特に期待していないし、これ以上は無理

その他

具体的に：

【次は このページ の ホ-1 に進んでください】

【次は 16ページ の ＜最後に＞ に進んでください】

【ホ-1】薬剤師の配達を希望した人

■配達する人はどのような人を希望しますか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

五島市内の薬局（の薬剤師）

五島市内の薬局の人（薬剤師でなくても良い）

長崎や福岡などの本土の薬局（の薬剤師）

長崎や福岡などの本土の薬局の人（薬剤師でなくても良い）

■配達はどこまでして欲しいですか？ いくつでもあてはまるものすべてを選んでください。

自宅

公民館などの皆が集まる、歩いて行ける場所

【次は 16ページ の ＜最後に＞ に進んでください】

＜最後に＞

平成21年度に薬に関する法律が変わって、インターネットで風邪薬、胃腸薬、痛み止め、貼り薬、目薬、坐薬などの市販のお薬の販売が、原則規制された事をご存知ですか？ 一つだけ選んでください。

知っている

知らない

インターネットでの市販のお薬の販売規制について、どう思われますか？  
ご自由にお書きください。

これでアンケートは終了です。  
長いアンケートにご回答頂き、ありがとうございました。

※ ご記入いただきましたこのアンケートは、使わなかった みず色 のアンケートと一緒に、返信用の封筒に入れてご返送ください。

※ 返信用の封筒には、切手を貼らず、お名前やご住所などは何も書かずに、ポストや郵便局に投函してください。

15ページ

16ページ

Fig. 1. (Continued)

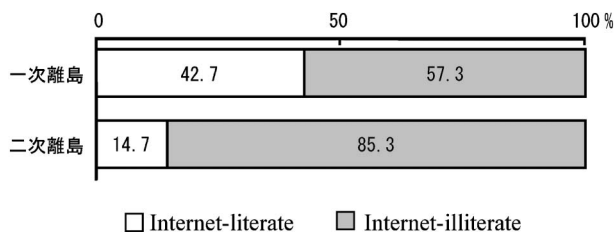


Fig. 2. Percentage of Internet-literate and Internet-illiterate People

お、インターネット非使用者の割合は、一次離島居住者 371 名（57.3%）、二次離島居住者 151 名（85.3%）であり、二次離島居住者の方が多かった。

以降、インターネットを使用する一次離島居住者 277 名、二次離島居住者 26 名について解析を行った。

2. 居住者（インターネット使用者）の基本情報  
居住者の基本情報を Table 1 に示す。

3. 医薬品以外の一般的な物品の購入について

3-1. インターネットでの買物をした経験の有無  
インターネットを使用している一次離島居住者の 216 名（78.0%）、二次離島居住者の 17 名（65.4%）

が、インターネットを利用して医薬品以外の物品の購入経験があると回答した。購入経験の割合に、一次離島、二次離島の差はなかった ( $p > 0.05$ ,  $\chi^2$  test)。

3-2. 購入時の状況（購入経験のある者）

インターネットでの医薬品以外の物品購入の経験がある回答者（一次離島居住者 216 名、二次離島居住者 17 名）に購入時の状況をたずねた (Figs. 3 and 4)。ここで、選択肢の中で「便利だった」「安く手に入った」「安心して購入できた」という語句を、「購入時に好印象を得た」の指標とし、「余分な経費がかかったことがある」「がっかりした」「断られたことがある」「困った」という語句を「購入時に悪印象を得た」の指標とした。

インターネット購入に関して悪印象であった意見に比べ、好印象だったとする意見の方がかなり多かった。離島に特有の問題点として、送料が余計にかかることや品物が届く時間がかかることが考えられるが、一次離島居住者 139 名（64.4%）、二次離島居住者 10 名（58.8%）が「比較的早く届き便利」と好印象だったのに対し、「離島なので、都市部と比較して品物が届くのに日数がかかり困った」と悪

Table 1. Profiles of Inhabitants Who are Internet-literate

	一次離島における 人数(%) (n=277)	二次離島における 人数(%) (n=26)
<b>性別</b>		
男性	112(40.4)	14( 53.8)
女性	165(59.6)	12( 46.2)
<b>年齢</b>		
10歳-	29(10.5)	1( 3.8)
20歳-	41(14.8)	3( 11.5)
30歳-	81(29.2)	2( 7.7)
40歳-	56(20.2)	8( 30.8)
50歳-	43(15.5)	8( 30.8)
60歳-	20( 7.2)	3( 11.5)
70歳-	5( 1.8)	8( 30.8)
80歳-	2( 0.7)	0( 0.0)
<b>職業</b>		
会社勤め	69(24.9)	3( 11.5)
無職	65(23.5)	3( 11.5)
公務員	50(18.1)	11( 42.3)
学生	27( 9.7)	1( 3.8)
自営業	26( 9.4)	1( 3.8)
農業	10( 3.6)	4( 15.4)
パート/アルバイト	10( 3.6)	1( 3.8)
漁業	5( 1.8)	3( 11.5)
介護職員	4( 1.4)	0( 0.0)
その他	21( 7.6)	0( 0.0)
<b>現在の住まい</b>		
自宅	275(99.3)	24( 92.3)
施設	2( 0.7)	2( 7.7)
<b>現在同居している人数</b>		
単身者	19( 6.9)	11( 42.3)
1名	65(23.5)	6( 23.1)
2-3名	119(43.0)	4( 15.4)
4名以上	33(11.9)	2( 7.7)
無回答	41(14.8)	3( 11.5)
<b>現在の島の居住年数</b>		
5年未満	38(13.7)	11( 42.3)
5-10年未満	17( 6.1)	4( 15.4)
10-15年未満	6( 2.2)	0( 0.0)
15-20年未満	38(13.7)	2( 7.7)
20年以上	178(64.3)	9( 34.6)
<b>通院状況</b>		
通院中	72(26.0)	9( 34.6)
以前通院	128(46.2)	10( 38.5)
通院歴なし	77(27.8)	7( 26.9)
<b>通常歩行の可否</b>		
寝たきり	0( 0.0)	0( 0.0)
歩行困難	1( 0.4)	0( 0.0)
歩行可・要介助	3( 1.1)	0( 0.0)
通常歩行	273(98.6)	26(100.0)

い印象を持ったのは一次離島居住者の30名(13.9%)、二次離島居住者の1名(5.9%)と少数だった(Figs. 3 and 4)。一方、離島だからという理由で断られた経験を持つ一次離島居住者が26名(12.0%)いた(Figs. 3 and 4)。

また、「その他」の意見として、離島で入手できないものがインターネットで購入可能でありインターネットによる購入が有用であるとする意見(3件)がある一方で、非常に送料が高かった、配送不可とのWEB上の表示にがっかりしたという意見(3件)、インターネットによる購入は便利だが購入先を吟味する必要があるといった意見もみられた。

**3-3. インターネットで購入しない理由(購入経験がない回答者)** インターネット医薬品以外の物品の購入経験がない回答者(一次離島居住者61名、二次離島居住者9名)にその理由をたずねたところ、一次離島居住者では島内の商店で間に合っている(40名、65.6%)が最も多く、ついでインターネットでの買い物が信用できない(18名、29.5%)というものが多かった。一方、二次離島居住者ではインターネットでの買い物が信用できない(7名、77.8%)が多かった。

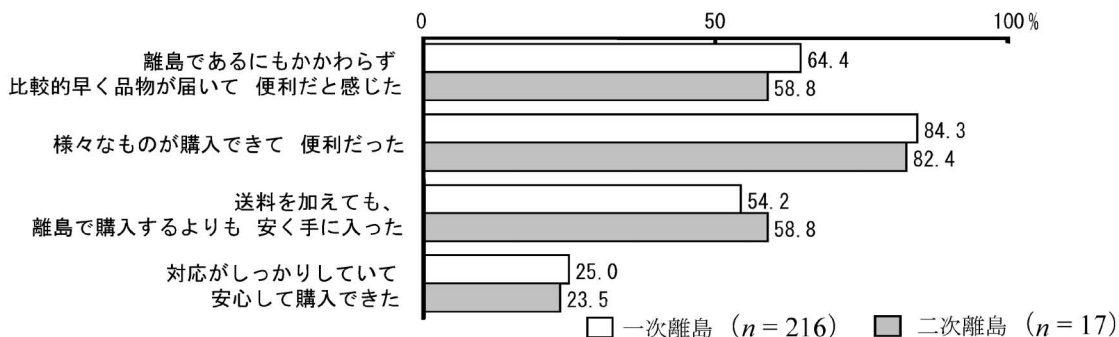
**4. 一般用医薬品の使用・購入について** なお、アンケート用紙には理解し易いように「市販の医薬品」と記載したが、本論文では一般用医薬品と記載した。

**4-1. 一般用医薬品の使用頻度** インターネット使用者における一般用医薬品の使用頻度は、「時々購入する(2ヵ月-1年に1回程度)」とするものが、一次離島居住者131名(47.3%)、二次離島居住者12名(46.2%)と最も多かった。

**4-2. 一般用医薬品の購入先** 一般用医薬品の主な購入先は、「病院の薬を出してもらえないようなドラッグストア・薬店」としたものが最も多く(一次離島居住者133名、48.0%、二次離島居住者16名、61.5%)、ついで「薬剤師がいて、病院の薬を出してもらえるような薬局」が多かった(一次離島居住者67名、24.2%、二次離島居住者4名、15.4%)(Fig. 5)。一方、インターネットで購入すると回答した者は、一次離島居住者の3名(1.1%)のみであった(Fig. 5)。

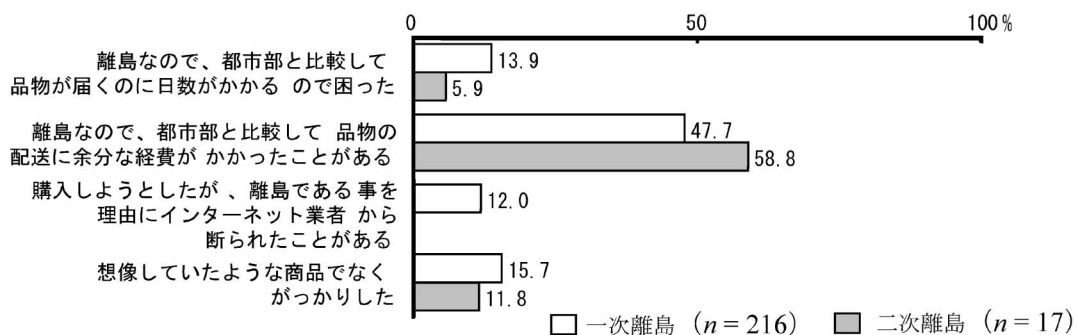
「病院の薬を出してもらえないようなドラッグストア・薬店」を選択した回答者のうち、一次離島居





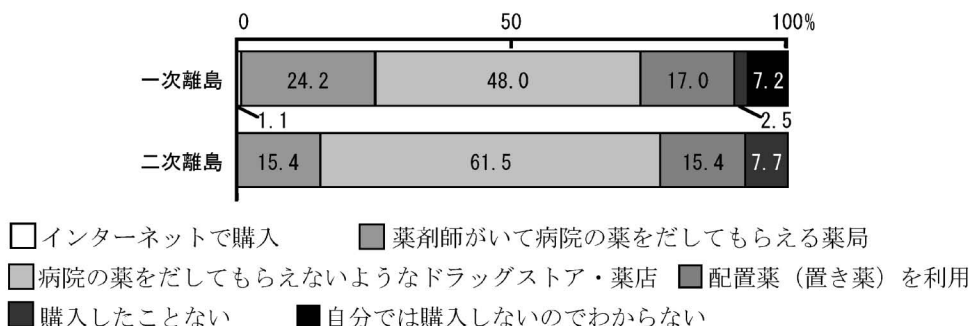
表示値は、「インターネットで物品購入したことがある」を選んだ人、一次離島 (n = 216)、二次離島 (n = 17) に対する各割合 (%) を示す。

Fig. 3. Percentage of People Who Have Favorable Opinions about Making Purchases over the Internet (multiple answers)



表示値は、「インターネットで物品購入したことがある」を選んだ一次離島 (n = 216)、二次離島 (n = 17) 居住者に対する各割合 (%) を示す。

Fig. 4. Percentage of People Who Have Poor Impressions about Making Purchases over the Internet (multiple answers)



表示値は一次離島 (n = 277)、二次離島 (n = 26) に対する各割合 (%) を示す。

Fig. 5. Percentage of Islands Where Inhabitants Purchase Nonprescription Drugs

住者 104 名 (78.2%), 二次離島居住者 9 名 (56.3%) が 20-40 歳代であった(データは示していない).

4-3. 「インターネットで購入」する理由

一般用医薬品を主に「インターネットで購入」という回答者が、一次離島居住者に 3 名のみに

た. その理由として、「自宅にいながらして手に入れることができるから」「プライバシーが守れるから」「インターネットで買う方が安いから」「服用方法などの情報が豊富で安心できるから」「目的の医薬品が薬局で置いてなくて不便だったから」といっ

た意見が記載されていた（複数回答）。

**4-4. 「薬剤師がいて、病院の薬を出して貰えるような薬局」で購入する理由** 一般用医薬品を主に「薬剤師がいて病院の薬を出してもらええる薬局（すなわち保険薬局）」で購入するとした回答者（一次離島居住者 67 名、二次離島居住者 4 名）にその理由をたずねたところ、一次離島居住者では「薬局の薬剤師から説明を受けて購入したいから」（45 名、67.1%）、「実物を手にとりながら購入したいから」（26 名、38.8%）が多く、二次離島では少数意見に分かれていた（Table 2）。

**4-5. 「薬剤師がいて、病院の薬を出して貰えるような薬局で購入」する回答者の購入先** 一般用医薬品を「薬剤師がいて、病院の薬を出してもらええるような薬局」で購入すると回答した者の購入する薬局の場所としては、一次離島居住者の多くが「島内の薬局」（47 名、70.1%）、「福江島のような大きな島の薬局」（22 名、32.8%）が多く、長崎や福岡まで医薬品を購入しに行くとの回答者も 2 名いた（Fig. 6）。二次離島居住者においては、居住する島には薬局がないため、福江島のような一次離島に行くとの回答者が 3 名、長崎や福岡まで医薬品を購入しに行くとの回答者が 1 名であり、また、福江島から医薬品を届けてもらうとの回答者も 1 名いた（Fig. 6）。

**4-6. 「病院の薬を出して貰えないようなドラッグストア・薬店で購入」する理由** 一般用医薬品を主に「病院の薬を出してもらえないようなドラッグ

ストア・薬店」で購入するとした回答者（一次離島居住者 133 名、二次離島居住者 16 名）にその理由をたずねたところ、「実物を手にとりながら購入できる」としたものが一次離島、二次離島居住者ともに最も多く、各々 88 名（66.2%）、10 名（62.5%）であり、ついで「品揃えが豊富」（各々 83 名、62.4%、9 名、56.3%）、「安く購入できる」（各々 71 名、53.4%、9 名、56.3%）というものだった（Fig. 7）。

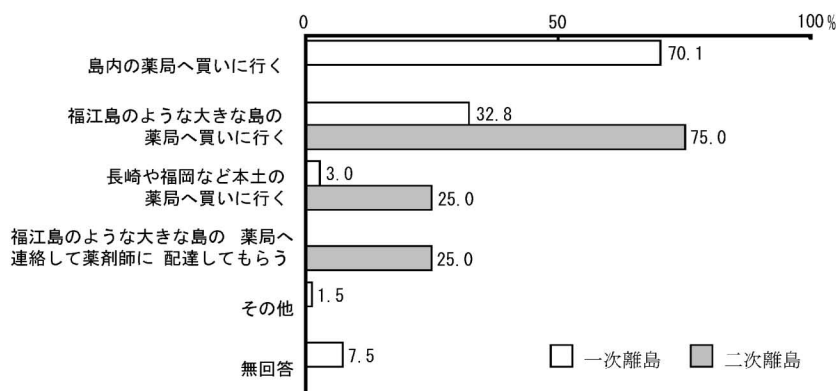
**4-7. 「病院の薬を出して貰えないようなドラッグストア・薬店で購入」する回答者の購入先**

一般用医薬品を主に「病院の薬を出してもらえな

Table 2. Reasons That the Inhabitants Wish to Purchase Nonprescription Drugs at Pharmacies Where Pharmacists Prescribe (multiple answers)

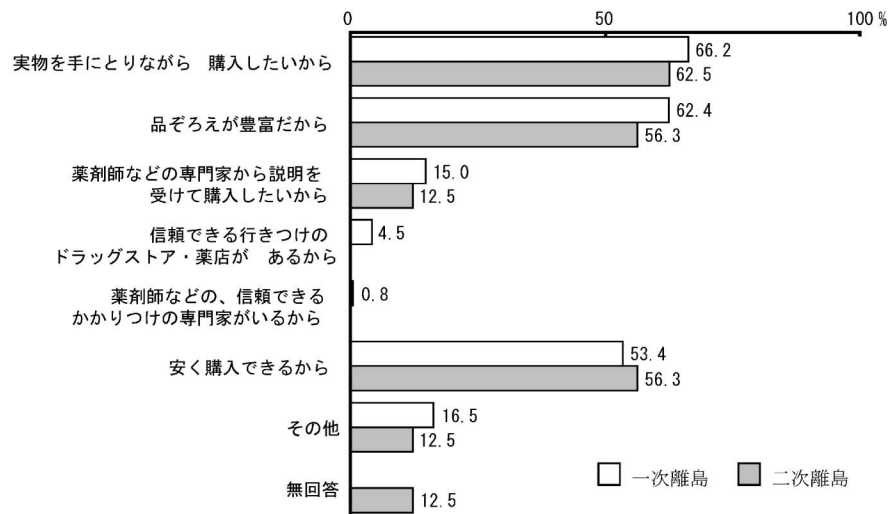
	一次離島	二次離島
実物を手にとりながら購入したいから	26(38.8)	3(75.0)
薬局の薬剤師から説明を受けて購入したいから	45(67.1)	1(25.0)
病院へ行ったついでに購入できるから	16(23.9)	2(50.0)
医師や薬剤師から、市販薬を勝手に買ってはいけないと言われているから	1(1.5)	0(0.0)
信頼できる行きつけの薬局があるから	16(23.9)	2(50.0)
信頼できるかかりつけの薬剤師がいるから	8(11.9)	2(50.0)
お薬の飲み合わせや副作用が気になるから	15(22.4)	1(25.0)
その他	1(1.5)	1(25.0)
無回答	2(3.0)	0(0.0)

表示値は人数（名）、（ ）内は、「薬剤師がいて、病院の薬を出して貰えるような薬局で購入」を選んだ一次離島（ $n=67$ ）及び二次離島（ $n=4$ ）居住者に対する各割合（%）を示す。



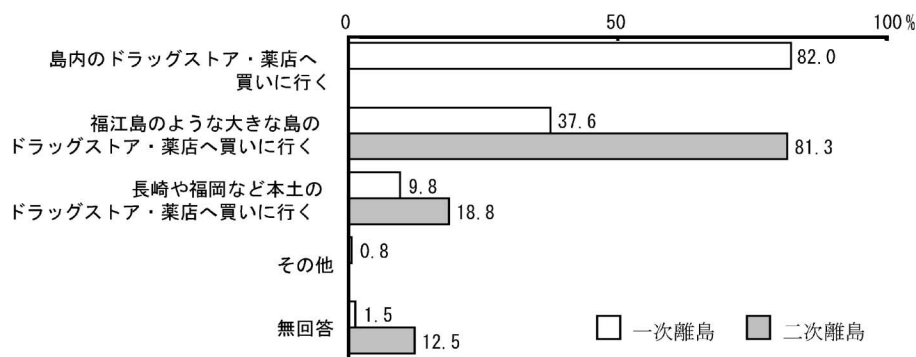
表示値は、「薬剤師がいて、病院の薬を出して貰えるような薬局で購入」を選んだ一次離島（ $n=67$ ）、二次離島（ $n=4$ ）居住者に対する各割合（%）を示す。

Fig. 6. Question: Which Pharmacies (with Pharmacists Who Prescribe) Do Inhabitants Wish to Purchase Nonprescription Drugs from? (multiple answers)



表示値は、「病院の薬を出して貰えないようなドラッグストア・薬店で購入」を選んだ一次離島 ( $n=133$ )、二次離島 ( $n=16$ ) 居住者に対する各割合 (%) を示す。

Fig. 7. Reasons That Inhabitants Wish to Purchase Nonprescription Drugs at Drug Stores (multiple answers)



表示値は、「病院の薬を出して貰えないようなドラッグストア・薬店で購入」を選んだ一次離島 ( $n=133$ )、二次離島 ( $n=16$ ) 居住者に対する各割合 (%) を示す。

Fig. 8. Question: Which Drug Store Do Inhabitants Wish to Purchase Nonprescription Drugs from? (multiple answers)

いようなドラッグストア・薬店」で購入する回答者の購入先としては、一次離島居住者では「島内の薬局」(109名, 82.0%)、二次離島では「福江島のような大きな島のドラッグストア」(13名, 81.3%) を選択した回答者が特に多かったが、「長崎や福岡など本土のドラッグストア」を選択した回答者も一次離島居住者に13名(9.8%)、二次離島居住者に3名(18.8%)いた (Fig. 8)。

#### 4-8. 「配置薬 (置き薬) を利用する」理由

一般用医薬品は「配置薬を利用する」を選んだ回答者 (一次離島居住者47名, 二次離島居住者4名) にその理由をたずねた結果、一次離島居住者では「これまで配置薬で対応して困ったことがない」と

いう回答者が33名(70.2%)と最も多く、ついで「買いに行くのが面倒」、「慣れ親しんだ薬だから」という回答が多かった。二次離島では、配置薬を選んだ者が4名しかいなかったが、うち2名が「これまで配置薬で対応して困ったことがない」と回答した。

4-9. 「配置薬 (置き薬) を利用する」回答者が契約している配置薬会社数 一般用医薬品に「配置薬を利用する」とした一次離島居住者において、1社との契約者が59.6%と最も多かった。

4-10. 配置薬 (置き薬) の補充頻度 配置薬の補充頻度としては、一次離島居住者では2-3ヵ月に1度とするものが30名(63.8%)と最も多く、

二次離島居住者では配置薬利用を選んだ者が4名しかおらず補充頻度もまちまちであった。

#### 4-11. 「市販の薬は購入した事がない」理由

「市販の薬は購入しない」を選択した回答者は、一次離島で7名、二次離島で2名いた。その理由としては、「調子が悪く（病気に）なると病院にすぐかかることから病院から薬が手に入るから」との回答が多く（一次離島居住者、4名、二次離島居住者、2名）、「市販の薬は効き目が弱いと思うから」という意見もみられた。

### 5. インターネットでの一般用医薬品の購入

**5-1. インターネットでの一般用医薬品を購入（購入しようとしたこと）の有無** 一般用医薬品のインターネットでの購入の必要性をたずねたところ、「購入したことがないし、必要性も感じたことがない」との回答が一次離島、二次離島居住者でそれぞれ234名（84.5%）、16名（61.5%）であり、「購入したことはないが、必要性を感じたことがある」との回答はそれぞれ24名（8.7%）、8名（30.8%）であった（Fig. 9）。少数ではあるが、購入したことがある者も一次離島居住者で17名（6.1%）、二次離島居住者で1名（3.8%）存在した（Fig. 9）。

**5-2. 「インターネットで購入したことがある」理由** インターネットでの一般用医薬品を購入したことがある回答者（一次離島居住者17名、二次離島居住者1名）にその理由をたずねた結果、一次離島居住者では、「価格が安い」が最も多く10名（58.8%）、ついで「島内の薬局で使用したい医薬品が手に入らない」が5名（29.4%）であり、「試しに購入した」との回答も5名いた（29.4%）（Fig. 10）。インターネットで購入したほうが安かった一般用医薬品の例としては、コレステガード、整腸

剤、目薬が挙げられた。

#### 5-3. インターネットで購入した時の状況

インターネットで一般用医薬品を購入したときの状況としては、離島であるにもかかわらず比較的早い（8名）、安い（7名）、離島で手に入らないものが手に入った（6名）という感想が一次離島居住者に多かった（Table 3）。

#### 5-4. 「インターネットで購入したことはないが、その必要性を感じた事がある」時について

「インターネットで一般用医薬品を購入したことはないが、必要性を感じることもある」と回答した者が必要性を感じる時として、「自分は必要ないが、体の不自由な方たちのことを聞くと、必要性を感じる」という回答者が一次離島11名（45.8%、 $n=24$ ）、二次離島5名（62.5%、 $n=8$ ）と最も多かった。また、これらに関連して、「その他の理由」として、「使ったことのある安心してよい薬であれば島外に行かずに購入できると便利（島内に店がないため）」というものがあつた。

Table 3. Question: What Was the Drug Supply Situation When Inhabitants Purchased Nonprescription Drugs over the Internet? (multiple answers)

	一次離島	二次離島
注文でき、離島であるにもかかわらず比較的早く品物が届いた	8	0
離島で手に入らない商品が購入できて助かった	6	1
送料が生じても、離島で購入するよりも安く手に入った	7	0
対応がしっかりしていて、安心して購入できた	3	0
無回答	1	0

表示値は人数（名）

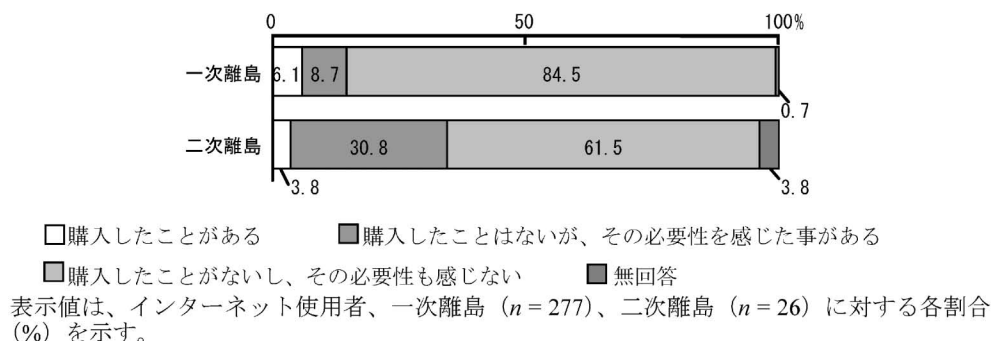
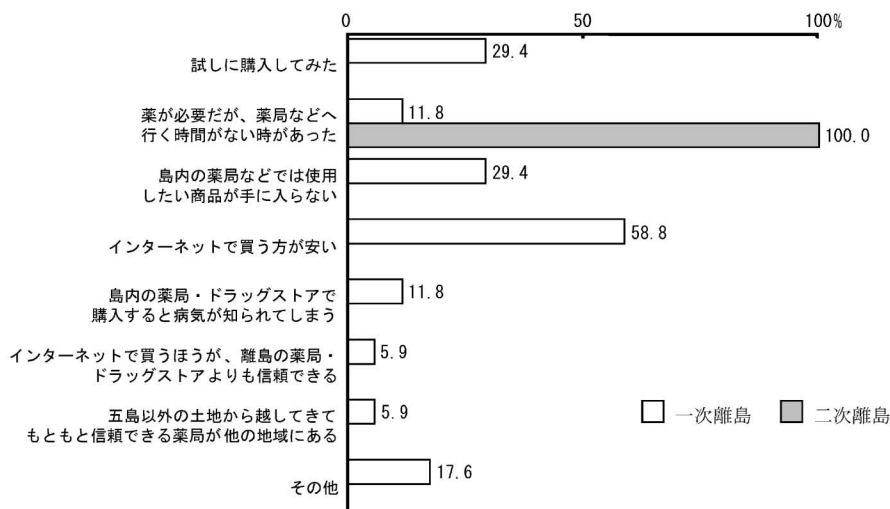


Fig. 9. Percentage of Inhabitants Who Purchase (or Try to Purchase) Nonprescription Drugs over the Internet



表示値は、インターネット使用者、「インターネットで購入したことがある」を選んだ一次離島 ( $n=17$ )、二次離島 ( $n=1$ ) 居住者に対する各割合 (%) を示す。

Fig. 10. Reasons That Inhabitants Wish to Purchase Nonprescription Drugs over the Internet (multiple answers)

**5-5. 「インターネットで購入したことはないが、その必要性を感じた事がある」理由** インターネットで購入する必要性を感じたときに購入しなかった理由としては、「離島であるためにコストがかかりそう」としたものが一次離島 9 名 ( $n=24$ )、二次離島 4 名 ( $n=8$ ) と最も多く、ついで「時間がかかりそう」としたものが一次離島 8 名、二次離島 3 名と多かった。「薬はインターネットで購入するものでない」という意見も一次離島、二次離島において各々 4 名、2 名みられた。

**5-6. 「インターネットで購入したことがないし、その必要性も感じない」理由** インターネットを使用できるのに、インターネットでは一般用医薬品を購入したことがなく、その必要性も感じない理由として、「身近な薬局やドラッグストアで購入できる」とした意見が、一次離島 188 名 (80.3%,  $n=234$ )、二次離島 13 名 (81.3%,  $n=16$ ) と最も多く、ついで「そもそも薬はインターネットで購入するものでない」と考えたものが、一次離島 121 名 (51.7%)、二次離島 7 名 (43.8%) と多かった。さらに「配送料など、離島なので余計にコストがかかりそうだから」、「離島なので注文してから配送されるのに時間がかかりそう」などの意見もそれぞれ 25%前後あった (Fig. 11)。

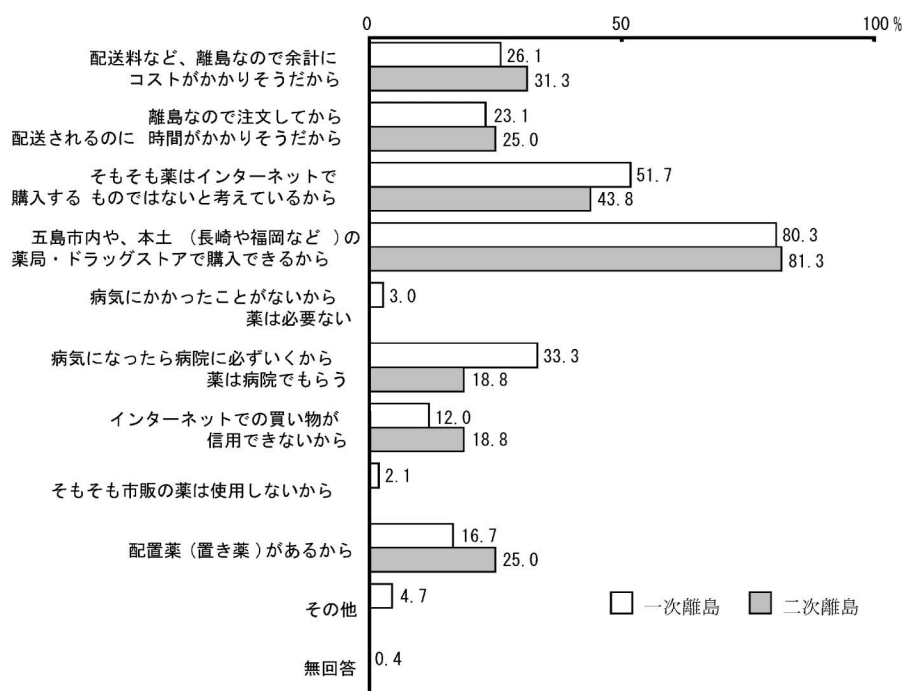
「その他」の理由として、「インターネットで薬を

購入するという発想がなかった」「インターネット自体のシステムがこわいから」(2名)「インターネット通販は便利だが、通常は受取るために家にいなくてはならない」「不在がちなので不便な面もある」「顔の見えないインターネットで薬を購入することに少し抵抗がある」「やはり医者や薬剤師の方に処方される薬の方が安心できる気がする」「緊急を必要とする場合に手元にすぐ届かないから」「今の状況で不自由を感じていないから」といった意見がみられた。

なお、一次離島居住者には歩行困難、あるいは歩行可だが介助が必要な者が 4 名いた。年齢はばらつきがあったが、全員女性であった。インターネットによる医薬品以外の物品購入経験は、あるものとなりのものが 2 名ずつであったが、医薬品のインターネット販売に関しては、全員経験がなく、その必要性も感じないとの回答であった (Table 4)。

## 6. 一般用医薬品の入手全般

**6-1. 一般用医薬品を手に入れる方法として期待するものについて** 今後期待する一般用医薬品の入手方法として、「今のままで十分」という回答が一次離島で 70.4%、二次離島で 53.8% と最も多かった (Fig. 12)。一方、二次離島居住者において、「事前にお願ひしておけば、定期的に配達」、「緊急時でも薬剤師が配達」を期待する意見もあった (それぞれ 15.4%、11.5%)。さらに、「できればイン



表示値は「インターネットで一般用医薬品を購入したことがなく、必要性も感じない」を選んだ一次離島（ $n = 234$ ）、二次離島（ $n = 16$ ）居住者に対する各割合（%）を示す。

Fig. 11. Reasons That Inhabitants Have Never Purchased or Have Never Felt the Need to Purchase Nonprescription Drugs over the Internet (multiple answers)

Table 4. Comments from Inhabitants Who Find It Difficult to Walk and Need Help while Walking in the House

年齢	性別	インターネット物品購入	医薬品の購入方法	医薬品のインターネット販売について	今後の医薬品の購入方法
80	女	ある	配置薬を利用	購入なし 必要性なし	緊急時でも薬剤師に配達
20	女	ある	配置薬を利用	購入なし 必要性なし	今のままで十分
80	女	ない	わからない	購入なし 必要性なし	緊急時でも薬剤師に配達
50	女	ない	ドラッグストア・薬店	購入なし 必要性なし	今のままで十分

ターネットで購入したい」という回答者も一次離島に16名（5.8%）、二次離島に2名（7.7%）存在した（Fig. 12）。

**6-2. 誰に医薬品の配達を期待するか** 一般用医薬品の配達は、「五島市内の薬局（の薬剤師）」にと希望する居住者が、一次離島30名（73.2%、 $n = 41$ ）、二次離島5名（71.4%、 $n = 7$ ）とともに最も多かった。「五島市内の薬局（薬剤師でなくてもよい）」と回答したものも多かった。

**6-3. どこまで配達してほしいか** 一般用医薬

品の配達は、自宅までを希望するものが、一次離島40名（97.6%、 $n = 41$ ）、二次離島6名（85.7%、 $n = 7$ ）と最も多かった。

**6-4. インターネットでの一般用医薬品の販売規制の認識** 平成21年度の改正薬事法施行により、インターネットでの一般用医薬品販売が原則規制されたことに関しては、インターネットを使用する一次離島及び二次離島居住者のそれぞれ半数以上が知っていた（Fig. 13）。

**6-5. インターネットでの一般用医薬品の販売規**

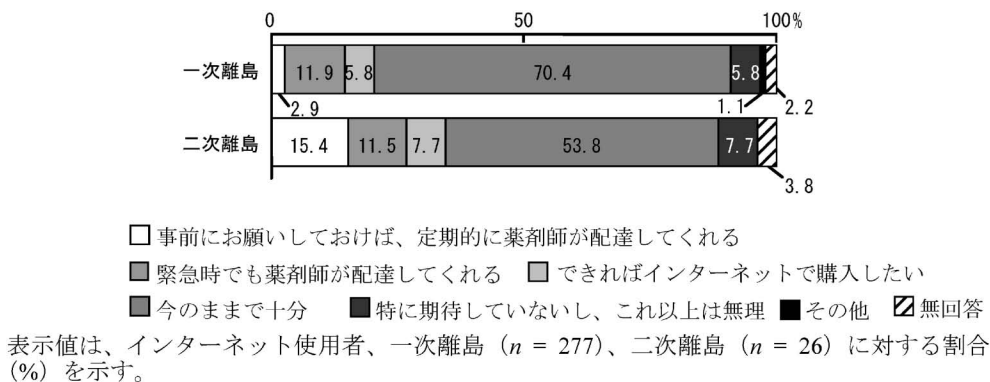


Fig. 12. The Ways to Purchase Nonprescription Drugs in the Future

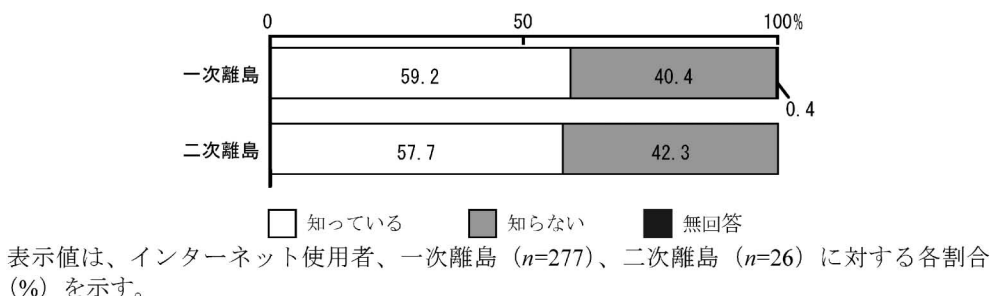


Fig. 13. Question: Were You Aware of the Prohibition on Purchasing Nonprescription Drugs over the Internet by the Revised Pharmaceutical Affairs Act?

**制に対する意見** 一般用医薬品のインターネットでの販売規制について、インターネットを使用する一次離島居住者の 154 名 (55.6%) が自由記述を記載していた。販売規制に関して、「賛成」「規制してほしい、したほうがよい」「規制が当然、妥当、いたしかたない」「インターネットで薬の販売は信じられない」「インターネットでの薬の販売に反対」「インターネットでの薬の販売はない方がいい、嫌いだ」「薬等を通信で購入する気にはなれない」などの記述を含むものを賛成意見だと判断し抽出すると 43 件であった。一方、「反対」「販売規制をしなくていい、必要はない」「販売規制で困っている」「インターネットでの販売もよい、必要」「インターネットで買えないのはおかしい」などの記述を含むものを規制反対だと判断し抽出すると 20 件であった。インターネットを使用する二次離島居住者では 13 名 (50.0%) が自由記述を記載していた。同様に、販売規制に関する意見を抽出したところ、規制賛成意見 1 件、規制反対意見 1 件であった。

考 察

**1. 本調査の対象となった離島居住者におけるインターネット利用の実態** 全有効回答のうち、インターネットを使用している者は、一次離島居住者の 42.7%、二次離島居住者の 14.7% であった (Fig. 2)。これは、平成 22 年 4 月に発表された総務省による平成 21 年「通信利用動向調査」<sup>3)</sup>によるわが国のインターネットの人口普及率 78.0% と比較するとかなり低い。このことから、離島住民のインターネット利用率は、全国的平均からするとかなり低いことが推察される。特に、薬局・薬店が存在しない二次離島居住者でインターネットを使用している者の割合は、全国平均の約 1/5 と相当低いことがわかった。これは、二次離島には高齢の居住者が多いことも原因しているであろう (Table 1)。

さらに本調査においてインターネットを使用していると回答した者の年齢層をみると、一次離島では 30 歳代から 40 歳代が 49.5%、16 歳から 20 歳代が 25.3% と多く (Table 1)、高年齢層の離島居住者は、あまりインターネットを使用していないと推察

される。また、インターネット使用者の男女比は、一次離島居住者では59.6%が女性、40.4%が男性、二次離島居住者では46.2%が女性、53.8%が男性であり、五島市の人口の男女の構成比男性46.8%、女性53.2%（平成21年10月末時点）という五島市人口の男女比率とほぼ一致していることから、インターネットの使用に男女の差がないことが示唆された。

**2. インターネット使用離島居住者の一般物品のインターネット購入** インターネットを使用している一次離島居住者の78.0%、二次離島居住者の65.4%が、インターネットを利用した医薬品以外の物品の購入経験があると回答した。これは、全国のインターネット利用者を対象としたインタラクティブウェブ調査におけるオンラインショッピングの利用率81.0%<sup>4)</sup>に近い値であり、離島においてもインターネットを利用する居住者の多くがインターネットで一般物品を購入しているということが明らかとなった。これらのインターネットによる一般物品購入経験をもつ離島居住者においては、インターネット購入に関して悪印象であった意見に比べ、好印象だったとする意見の方がかなり多かった（Figs. 3 and 4）。これらのことから、インターネットを使用する離島居住者は、インターネットによる物品購入の利便性を十分に感じているということが明らかとなった。

**3. インターネット使用離島居住者の一般用医薬品のインターネット購入** インターネットを使用する離島居住者において、一般用医薬品を主に「インターネットで購入する」と回答したのは、一次離島居住者の1.1%のみであり、二次離島居住者には存在しなかった（Fig. 5）。また、インターネットを利用した一般用医薬品の購入経験があるのは、一次離島居住者の6.1%、二次離島居住者の3.8%であった（Fig. 9）。これらのことから、離島居住者は、「医薬品以外の一般物品」の購入に関してはインターネットの利便性を十分に感じていながら、「一般用医薬品」の購入にインターネットを第一に考える者は極めて少なく、また実際に購入した経験も少ないということが明らかとなった。

一方、インターネットを使用する一次離島居住者の84.5%、二次離島居住者の61.5%が「一般用医薬品を、インターネットを利用して購入したことが

ないし、必要性も感じたことがない」と回答した（Fig. 9）。その主な理由としては、「身近な薬局やドラッグストアで購入できる」、「そもそも薬はインターネットで購入するものでないと思う」などが多かった（Fig. 11）。また、「一般用医薬品を手に入れる方法として今後期待するもの」として、「できればインターネットで購入したい」としたのは、一次離島居住者の5.8%、二次離島居住者の7.7%と少数であり（Fig. 12）、離島居住者は、今後も一般用医薬品の購入に関して、インターネットにあまり大きく期待をしていないということが示された。これらの調査結果から、インターネットを使用できる離島居住者の多くが、一般用医薬品のインターネット販売をかならずしも必要としないことが示唆された。さらに、「歩行困難、あるいは歩行可だが介助が必用」な4名の一次離島居住者は、インターネットによる医薬品以外の物品購入経験はあるものではないものが2名ずつであったが、一般用医薬品のインターネット販売に関しては全員経験がなく、その必要性も感じないと回答した（Table 4）。わずか4名ではあるものの、離島に住むインターネット使用者で、かつ介助が必要というかなり特殊な医薬品購入弱者でさえも、インターネットを用いた一般用医薬品の購入は必要ないと判断していることになる。このことは、離島居住者も、介助の必要な方もインターネットによる一般用医薬品の購入は必要がないということを示唆しているものと考えられる。

ただし、インターネットを使用する一次離島居住者の8.7%、さらに二次離島居住者では30.8%が、一般用医薬品をインターネットで「購入したことはないが、必要性を感じたことがある」と回答しており（Fig. 9）、少ないながらも一般用医薬品購入にインターネットの必要性を感じる離島居住者がいるのも事実である。インターネットでの一般用医薬品の販売を規制するのであれば、それに代わる方法を探る必要があると考えられる。

**4. 離島居住者の一般用医薬品の入手方法に対する期待** インターネットを使用する離島居住者が「一般用医薬品を手に入れる方法として今後期待するもの」として、「今のままで十分」という回答が一次離島居住者の70.4%、二次離島居住者の53.8%と最も多かったが、「緊急時でも薬剤師が配達してくれる」あるいは「事前にお問い合わせ、定



期的に配達してくれる」といった「一般用医薬品の配達」に対する期待が、一次離島居住者で合計14.8%、二次離島居住者で合計26.9%あった (Fig. 12)。また、一般用医薬品の配達を期待した一次離島居住者の97.6%、二次離島居住者の85.7%が自宅までの配達を希望していた。このことは、インターネットを使用する離島居住者の一般用医薬品の入手方法として、インターネットを介して購入することよりも、薬剤師による自宅までの配送を期待していることを示唆している。

一般用医薬品を離島居住者の自宅まで配達することは、一次離島居住者に対しては容易であるが、一次離島あるいは本土から二次離島居住者の自宅までとなると容易なことではない。その解決策の1つとして、本土・一次離島の薬剤師が緊急時や事前契約によって二次離島居住者に対して配達し、その適正使用情報を対面で提供するシステムが考えられる。このような一般用医薬品の供給・適正使用のためのシステムを実現するためには、必要となるコスト、本土・一次離島・二次離島のインフラ状況などの調査研究を実施する必要がある。

一方で、離島・僻地地域の実情に応じた、医薬品購入弱者に対する医薬品の医薬品供給・管理・適正使用の新たな仕組みを見い出せるまでの間、「薬局及び店舗販売業の店舗が存在しない離島に居住するものに対しての薬局製造販売医薬品、第2類医薬品又は第3類医薬品の郵便販売に関する経過措置」の期限延長は必要であろう。

## 結 論

離島居住者に対する一般用医薬品の購入実態に関する大規模な調査を初めて実施した。

1) インターネット使用可能の離島居住者はインターネットによる一般用品の購入は行っていたが、一般用医薬品の購入を行っているものはほとんどなく、その必要性も感じていなかった。

2) しかし、一部にはインターネットによる一般用医薬品の購入の必要性を感じている者もあり、インターネットによる一般用医薬品の購入を規制するのであれば、それに変わるシステムを早急に構築する必要がある。

3) 2)における新たな仕組みを見い出されるまでは離島居住者に対する特例措置を継続する必要がある。

**謝辞** 本調査結果をまとめるにあたり、有用なご助言を頂きました東京大学大学院情報学環・東京大学社会科学研究所前田幸男准教授に深謝致します。

## REFERENCES

- 1) Tanaka H., Fujisawa T., Hirayama T., Wakabayashi S., Abstracts of papers, the 12th Annual Meeting of Japanese Society of Drug Informatics, Fukuoka, July 2009, p. 110.
- 2) Tanaka H., Fujisawa T., Hirayama T., Wakabayashi S., Miyazaki C., Satoh H., Miki A., Hori S., Sawada Y., *Jpn. J. Pharm. Health Care Sci.*, **36**, 150–156 (2010).
- 3) Ministry of Internal Affairs and Communications, “Communications Usage Trend Survey in 2009”: (<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>), cited 25 January, 2011.
- 4) Shibatani D., “Internet White Paper 2010,” ed. by Internet Association Japan, Impress Japan Corp., Tokyo, 2010, pp. 179–234.